

第1学年社会科学学習指導案

学級 1年A組(男子4名、女子5名、計9名)
指導者 齊藤 貴

1 単元名 オセアニア州 ~強まるアジアとの結びつき~

2 単元について

(1) 教材観

本単元は、学習指導要領地理的分野の目標「(1)日本や世界の地理的事象に対する関心を高め、広い視野に立って我が国の国土及び世界の諸地域の地域的特色を考察し理解させ、地理的な見方や考え方の基礎を培い、我が国の国土及び世界の諸地域に関する地理的認識を養う。」ための単元である。

これまでに生徒は、世界の諸地域について、州やそれらを幾つかに区分した地域など世界を様々な地域に区分けして捉えられることを理解させ、アジア州、ヨーロッパ州、アフリカ州、北アメリカ州、南アメリカ州などに区分けして、地域的特色や地域の課題について学んできた。

これを受け、本単元では、オセアニア州を取り上げる。生徒にとっては身近に感じる機会の少ない地域であるが、特にオーストラリアは、日本にとって鉱産資源や肉類など重要な輸入相手国である。オーストラリアやニュージーランドは、イギリス人によって開発が進められたため、以前はイギリス、アメリカとの貿易が上位を占めていた。近年、アジアの経済発展により貿易相手国の上位に中国や日本が上がるなどアジアとの結びつきが強くなってきている地域といえる。

また、オーストラリアでは先住民との共存や移民との多文化社会を形成している。日本では見られない多文化社会について学ぶことは、グローバル化の進む将来や持続可能な社会の実現の観点からも学ぶ意義が大きいと考える。

そこで、オセアニア州とアジア諸国との結びつきが強まっていることに気づかせ、オーストラリアの多文化社会の進展を捉えさせるなど、具体的な人々の生活の様子を通してオセアニアの地域的特色を捉えさせることを主なものとしていく。

(2) 生徒観

新聞やニュースに出てくる国名を発表したり、社会一般の課題を指摘したりすることのできる生徒が多く、授業への関心を高くもち取り組んでいる。これまで、各州の単元では、気温と降水量のグラフの読み取りから自然の様子を理解することなどを得意としてきた。

また、主題を設定し、課題を追究することで、自分の考えを文章でまとめて記述することができるなど作業的な学習に積極的に取り組んできた。しかし、自分の考えを発表し、仲間と共に考えを練り合う活動を苦手としているため、課題の解決をより深めることが難しかった。

そこで、本単元では、班を単位としたグループ活動の場を設定し、多様な考え方、気づきなどを取り上げて発表し合い、考えや意見などを比較して考察させたいと考える。

1学期期末テストでは、学年平均74.8点、上位3名の平均83.3点、下位3名の平均67点であり、得点差があまり大きくない学年集団である。このことから、一斉指導やグループ学習において十分に自分の考えをまとめさせて、仲間の考えを基に思考を深めさせていきたい。

(3) 指導観

本単元では、アジア諸国との結びつきに関わる「オセアニアとアジアの結びつきはどのように強くなっていったのでしょうか。」という主題を設定し、「アジアの経済発展によって、オセアニアの鉱産資源や農産物の輸入が多くなったほか、オーストラリアの多文化社会やオセアニアとアジアの間で観光客が増えたこと。」といったオセアニアの地域的特色の理解を進めていきたいと考える。

研究課題に迫るために、自力解決の場を設定し、集団思考の練り合いによって思考を深めさせたい。具体的には、生徒は自分の考えをしっかりと持った上で、グループでの話し合い活動を行う。この活動を通じて、積極的に自分の考えを表現し、仲間の意見から新たな見方や考え方を発見し、自分の考えを深めることができるようにさせたい。このことにより基礎・基本を習得し、考えをまとめて定着を図り、意欲的に学び、考えることができるような生徒を育てたいと考える。

3 単元の目標

- ・オセアニア州の地域的特色に関心を高め、それを意欲的に追究し、捉えさせる。(社会的事象への関心・意欲・態度)
- ・オセアニア州とアジア州との結びつきがどのように強くなってきたのかを多面的・多角的に考察し、その過程や結果を地理的なまとめ方や発表の方法により適切に表現させる。(社会的な思考・判断・表現)
- ・様々な地図や統計資料から、オセアニア州の地域的特色について読み取り、地図や図表などにまとめさせる。(資料活用)の技能)
- ・オセアニア州の自然環境と人々の生活について、オセアニア州の自然や産業の特色と多文化社会の問題点を克服しながら多様な民族が共存するオーストラリアの社会を理解させ、その知識を身に付けさせる。(社会的事象についての知識・理解)

4 指導計画(3時間)

オセアニア州~強まるアジアとの結びつき~

- 1 オセアニア州をながめて(自然・文化・経済) ... 1
- 2 資源によるアジアとのつながり(農業・鉱工業) ... 1(本時)
- 3 人々によるアジアとのつながり(白豪主義・多文化社会) ... 1

5 本時の指導

(1) 目標

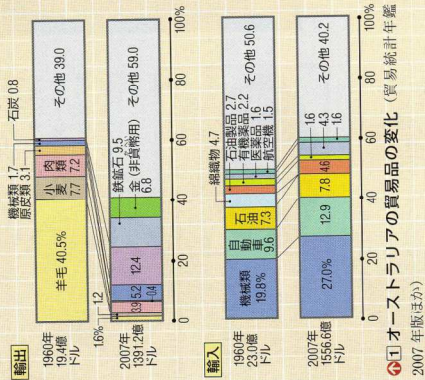
オーストラリアの農業や鉱工業の貿易内容や相手国の変化から、アジアとのつながりが深まってきた理由を考察する。

(2) 評価規準

観点 / 評価	B (概ね理解)	C (支援を要する生徒への手立て)
社会的な思考・判断・表現	オーストラリアの輸出品がどのように変化してきたか、農業と鉱工業の特色をふまえて説明している。	貿易相手国がアジアに変化していることについて、アジアの経済発展の様子を資料をつかって確認させる。

(3) 展開

段階	学習内容と活動	支援 () と評価 ()	資料や準備物
導入 5分	<p>1 問題把握 (1) オーストラリアの貿易相手国の変化のグラフを読み取る。</p> <p>2 課題設定</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">オーストラリアの貿易相手国になぜアジアが多くなってきたのでしょうか。</div> <p>(1) 設定した課題をノートに記入する。</p>	<p>貿易相手国がイギリスからアジアの国に変化していることに気づかせる。</p>	<p>・電子黒板</p>
展開 40分	<p>3 解決の見通し (1) オーストラリアの農業と鉱工業の特色について調べていくことを説明する。 (2) 農業と鉱工業の特色について予想する。 ・乾燥しているので農業に適さない ・大規模な農業をしている ・資源が豊富である (3) オーストラリアの産業の特色について世界で上位の産物を調べる。 (4) 農業の特色について知る。 ・羊は比較的降水量が見られる南東部と南西部に広がっている</p> <p>4 自力解決 (1) 鉱工業の特色について調べる。 ・東部には石炭、北西部には鉄鉱石の産地が多い ・大規模な露天掘りの鉱山もある (2) オーストラリアの貿易の特徴をまとめる (3) 学習課題についての自分の考えをノートにまとめる。</p> <p>5 集団思考 (1) グループで意見を交流し、学習課題に対する班の考えをまとめ、発表する。 (2) オーストラリアの貿易と産業についてのビデオを視聴する。</p>	<p>多くの生徒に発言させ、見通しをもたせる。</p> <p>羊毛、石炭、鉄鉱石、ボーキサイトの生産が世界有数であることを読み取らせる。</p> <p>羊と牛の飼育地域について教師主導で地図から読み取らせる。</p> <p>鉱工業では大規模に生産をしており、原材料のまま輸出していることに気づかせる。</p> <p>自分の考えを文章化して説明できるように指導する。</p> <p>ビデオでオーストラリアの貿易について具体的に感じさせる。</p>	<p>・資料集の産業統計</p> <p>・ホワイトボード</p> <p>・オーストラリアの貿易と産業のビデオ</p>
終末 5分	<p>6 ふり返り</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">オーストラリアは、広大な国土を利用して農業や鉱工業の生産に力を入れている。アジアの経済発展によって、工業が発展しその工業原料が必要になったため、オーストラリアとアジアとの貿易が活発になった。</div> <p>7 次時予告 (1) 次時は、人々によるアジアとのつながりを学習することを知らせる。</p>	<p>オーストラリアの輸出品がどのように変化してきたか、農業と鉱工業の特色をふまえて説明している。</p>	



① オーストラリアの貿易品の変化 (貿易統計年鑑 2007年版ほか)



② 鉄鉱石を積んだ貨物列車 (オーストラリア 2001年)

2 資源によるアジアとのつながり

資源や産業に関して、オーストラリアはアジアとのように結びついているでしょうか。

変わる輸出品と貿易相手国

オーストラリアの輸出品や貿易相手国は大きく変わってきました。1960年には輸出品の約4割を羊毛が占めていましたが、2007年には石炭、鉄鉱石などの原料や機械類の割合が高くなっています。貿易相手国も1960年にはイギリスが輸出総額で第一位でしたが、輸出品の変化とともに、2007年には中国が第一位で、日本、アメリカ、韓国などの国々が上位になりました。

自然環境に合った農牧業

オーストラリアやニュージーランドでは羊の飼育がさかんです。ニュージーランドには、人間の9倍以上の数の羊がいるといわれます。オーストラリアでの羊の飼育地域は、比較的降水量が見られる南東部と南西部に広がっています。また牛の飼育地域は、降水量の多い北東部から北部に広がっています。

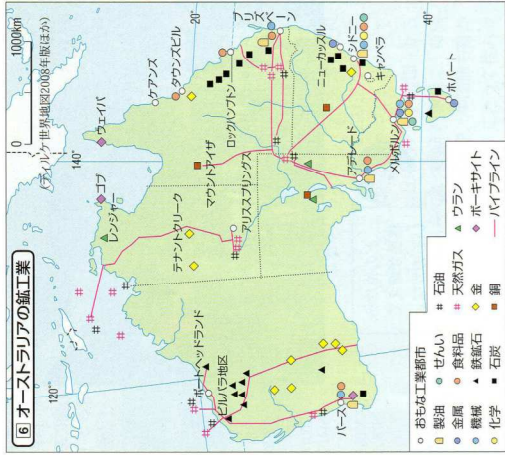
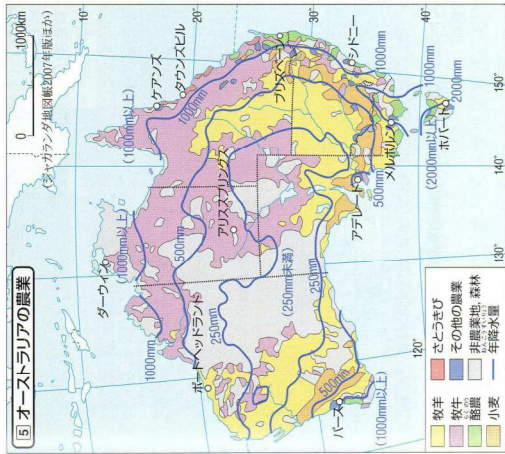
東部や南東部の沿岸部では、作物栽培と牧畜を組み合わせた農業がおもに行われています。ここでは、年によって作物栽培が収穫かを変えて、土地を有効利用しています。オーストラリアの内陸部は乾燥した地域が広がっており、全く農業を行っていない地域が多くなっています。



③ 羊の毛をかる様子 (オーストラリア 2009年)



④ オーストラリアの羊の飼育



豊富な資源を生かした国際関係

オーストラリアは、世界的にも有数の鉱産資源にめぐまれた国です。東部には石炭の産地、西部には鉄鉱石の産地が多く、また金や銅、ボーキサイト、ウランなどの鉱山は北部や南西部に分布しています。大規模な露天掘りの鉱山もありますが、ほとんどの鉱山は人が住んでいない内陸部に位置しています。そのため、住宅や学校、病院などをそろえた町を新たに建設し、海岸の積み出し港との間に100～400kmもの専用鉄道をしくこともあります。

オーストラリアの鉱業は、大規模で品質のよい資源を生み出すので、重要な輸出産業です。資源を安定的に確保するため、オーストラリアの資源の開発を進める日本企業もあります。日本だけでなく、アジア各国がオーストラリアの資源にたよっています。



⑤ 西オーストラリアの鉱山 (2003年)

地理にアクセス

フライングドクター

広大な国土のオーストラリアでは、内陸部や離島など、医療施設のないところで生活する人々のために、小型航空機を利用した医療サービスが発達しています。1928年に創設されたロイヤルフライングドクターサービスは、20か所以上の基地を持ち、機内でも応急処置が可能な設備と人員を配備しています。緊急時には、内陸部を走る道路が滑走路として利用されることがあります。



⑥ フライングドクター

オーストラリアからアジアへの輸出が増えた理由を説明しましょう。



デイリーポータル新鮮館 8月23日(日)

日曜市

三浦市 船石方面
大船渡東原
大船渡市 大船渡駅前
大船渡市 大船渡駅前
大船渡市 大船渡駅前

デイリーポータル新鮮館
大船渡店 営業時間 9:30~19:00 電話 0226(21)1270
大船渡店 営業時間 9:30~19:00 電話 0192(26)6500
佐田店 営業時間 9:30~19:00 電話 0220(21)5521
中田店 営業時間 9:30~19:00 電話 022(398)8432

精肉

オーストラリア産 牛肉肩ロース ステーキ用 (100g当り) 185円 (参考税込価格200円) 税抜き

アメリカ産+国産 ※一部解凍肉を含みます。 豚挽き肉 (100g当り) 87円 (参考税込価格94円) 税抜き

国産 若鶏むね肉 (100g当り) 47円 (参考税込価格51円) 税抜き

オーストラリア産 牛肉カルビ焼肉用 (100g当り) 255円 (参考税込価格276円) 税抜き

ニュージーランド産 ラム肩ロース 手切り焼肉用 (100g当り) 295円 (参考税込価格319円) 税抜き

国産 牛肉肩ロース ステーキ用 (100g当り) 390円 (参考税込価格422円) 税抜き

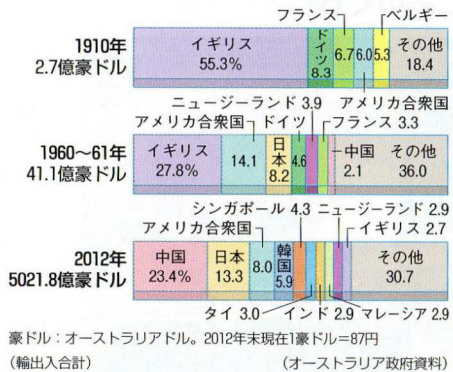
国産 牛肉肩ロース 手切り焼肉用 (100g当り) 390円 (参考税込価格422円) 税抜き

アメリカ産 牛タン焼肉用 (100g当り) 430円 (参考税込価格465円) 税抜き

鮮魚 静岡県産他 尾長まぐろ切落とし

お惣菜・お寿司

◆オーストラリアの貿易相手国の変化



●日本の輸入相手国の割合

